

委託事業実施内容報告書
平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

内容報告書

団体名：公益財団法人京都府国際センター

1. 事業の概要

事業名称	地域とともに考え、協働する日本語教育体制整備事業
事業の目的	地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や市町村国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室の立ち上げ・運営に関する支援事業を各地域で展開し、京都府の日本語教育体制の整備につなげる。また、地域における日本語教育を持続可能なものとするため、事業実施にあたっては各市町村と協働し、行政の役割としての日本語教育について理解を深めてもらう。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	・府内市町村においては日本語教育の担当部署が明確でなく、市町村国際化協会も単独で日本語教育事業に取り組めるところはほとんど見当たらない。 ・地域日本語教室は人員も少なく財政的にも脆弱な上、行政の支援を得ているところも限られボランティアの善意と熱意で成り立っている。 ・日本語教室運営に関してのノウハウは地域格差が大きく、府内全域で平準化を図る必要がある。 ・日本語教育体制の充実を図るためにはその必要性を一般住民および行政に理解してもらう必要がある。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	・府内日本語教室のネットワーク化(各教室同士の顔の見える関係づくりや学習指導・教室運営の方法など情報共有をすることで地域格差をなくすとともに各教室が抱える課題解決の場とする) ・府内市町村へのモデルとしての日本語教室の開催(カリキュラムや指導法を地域日本語教室に公開することで平準化を図る)および広域散在対応型日本語学習支援の検討 ・府北中部および南部日本語教室と協働した人材育成講座の実施(各地域で日本語学習支援に関わる人材を育成することで外国人住民が学習機会を得られるようにする。特に教室内でボランティアに対して指導ができる中核メンバーを各地で養成する) ・日本語教育への理解促進(日本語教育の意義について一般住民に理解してもらうことで日本語学習支援の裾野を広げ、市町村行政からの協力を得やすくする)
事業の実施期間	平成29年5月～平成30年3月 (11か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	諏訪喜栄子	綾部国際交流協会
2	渡部真理	京都にほんごRings
3	八木英敏	京都にほんごRings
4	麻田友子	京丹後市国際交流協会
5	青木良子	南丹市国際交流協会
6	鶴山昌仁	亀岡国際交流協会
7	近藤徳明	(公財)京都府国際センター
8		
9		
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成29年7月18日 (火) 15:30～16:30	1時間	ギャラリーかめおか	麻田友子 諏訪喜栄子 青木良子 鶴山昌仁 渡部真理 近藤徳明	・府内日本語学習支援事業の実施状況について ・日本語支援ボランティア養成講座(舞鶴市)について
2	平成29年12月19日 (火) 12:30～13:30	1時間	ギャラリーかめおか	麻田友子 諏訪喜栄子 青木良子 鶴山昌仁 八木英敏 近藤徳明	・府内日本語学習支援事業の実施状況について ・舞鶴市における日本語教室立ち上げについて
3	平成30年3月11日 (日) 17:30～18:30	1時間	ギャラリーかめおか	麻田友子 諏訪喜栄子 青木良子 鶴山昌仁 渡部真理 近藤徳明	・舞鶴市日本語教室立ち上げに係る進捗状況 ・平成29年度日本語学習支援事業実施報告 ・平成30年度日本語学習支援事業の展開について

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	府内市町村、市町村国際化協会および府内日本語教室ネットワーク組織である京都にほんごRingsと連携して日本語教室のネットワーク化を図り、日本語学習支援の人材育成において日本語学校や地域日本語教室の協力を得て新規ボランティアの養成や既存ボランティアの研修を実施。また、人材養成後には開催地各市町村や市町村国際化協会に日本語支援ボランティアの受け皿役を担ってもらう。
------	---

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	渡部真理(京都にほんごRings): 府南部の日本語教育体制整備についての意見集約、新規ボランティアの養成、日本語教育への理解促進に関するコーディネート 諏訪喜栄子(綾部国際交流協会): 府北中部の日本語教育体制整備についての意見集約、既存ボランティアの研修に関するコーディネート 鈴木万佐子(京都市教育委員会): 新規ボランティアの養成、既存ボランティアの研修に関するコーディネート 京都にほんごRings: 地域日本語教室ネットワークの構築、新規ボランティア養成に係る講師派遣 京都府国際センター: 全ての取組に関するコーディネート
----------	--

3. 各取組の報告

取組1	取組の名称		京都府日本語教室ネットワーク会議の実施						
	取組の目標		京都府全域のネットワーク体制を整備することで、情報や課題の共有など各地域の教室が孤立することなく他地域の教室との連携を図ることができ、それにより府域全体での日本語教育が活性化される。						
	取組の内容		府内の日本語教育の体制整備について協議する場として日本語教室ネットワーク会議を実施。 当センターが中心となって構築した北中部における日本語教室ネットワークに府内日本語教室ネットワーク組織である京都にほんごRingsの参画も得て日本語教育体制整備について協議した。 京都府北中部日本語教室ネットワーク会議 「京都府北中部における日本語教育体制の整備について」 7/18(火) 13:30-15:30 亀岡市 12/19(火) 10:30-12:30 亀岡市 3/11(日) 16:30-17:30 亀岡市						
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		定期的に会合を持ち、日本語教室のネットワーク化を図ることで、京都府の日本語教育事業の体制整備について、各地域の意向も踏まえた協議をもとに人材育成や啓発事業などが展開できた。人材育成や教室運営など各教室の課題解決においては府内日本語教室ネットワーク組織である京都にほんごRingsの協力を得た。						
	取組による日本語能力の向上								
	参加対象者		府内市町村日本語教育担当、市町村国際化協会、地域日本語教室			参加者数 (内 外国人数)		20人 (0人)	
	広報及び募集方法		府内市町村、国際化協会、日本語教室などに対して通知						
	開催時間数		総時間 5時間(空白地域 時間)						
	主な連携・協働先		市町村、市町村国際化協会、地域日本語教室						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	会議出席者名	補助者名	
1	平成29年7月18日 (火) 13:30～15:30	2	ガレリアかめおか	15	京都府北中部における日本語教育体制の整備について	・亀岡日本語教室活動紹介 ・各教室の現状と今年度の取り組み ・京都府国際センター日本語学習支援事業 ・日本語支援ボランティア養成講座(舞鶴市)	麻田友子 鳥居文子 芦田義孝 石田栄 諏訪喜栄子 松井みゆき 小林義博 青木良子 鶴山昌仁 金田尚子 塚田俊雄 湊妙子 渡部真理 賀川達也 近藤徳明		
2	平成29年12月19日(火) 10:30～12:30	2	ガレリアかめおか	14	京都府北中部における日本語教育体制の整備について	・各教室の日本語学習支援の取り組み ・日本語支援ボランティア養成講座(舞鶴市)報告 ・京都府国際センター日本語学習支援事業	麻田友子 鳥居文子 久保将太 石田栄 諏訪喜栄子 松井みゆき 小林義博 青木良子 鶴山昌仁 金田尚子 塚田俊雄 八木英敏 林孝昭 近藤徳明		

3	平成30年3月11日 (日) 16:30～17:30	1	ガレリアかめ おか	13	京都府北中部における日本語教育体制の 整備について	・平成29年度京都府国際センター日本語 学習支援事業報告 ・平成30年度京都府北中部日本語学 習支援事業	麻田友子 鳥居文子 菅原俊雄 芦田義孝 伊庭弥広 諏訪喜栄子 松井みゆき 小林義博 青木良子 鶴山昌仁 湊妙子 渡部真理 近藤徳明	
---	----------------------------------	---	--------------	----	------------------------------	---	---	--

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 平成29年7月18日】

- ・亀岡日本語教室活動紹介
- ・各教室の現状と今年度の取り組み
- ・京都府国際センター日本語学習支援事業
- ・日本語支援ボランティア養成講座(舞鶴市)



○取組事例②

【第2回 平成29年12月19日】

- ・各教室の日本語学習支援の取り組み
- ・日本語支援ボランティア養成講座(舞鶴市)報告
- ・京都府国際センター日本語学習支援事業



(2) 目標の達成状況・成果

- ・府内の日本語教育体制整備のための研修や教室の課題解決のための意見交換などが積極的に行われている。
- ・来年度地域日本語教室スタートアッププログラムを活用して日本語教室の開設を目指す舞鶴市および舞鶴国際交流協会も参加し、教室新設への協力依頼や教室運営に関する意見交換の場となるなど、形式的でなく実質的な会議となっている。
- ・開催毎に市町村にも通知をすることで、関心を示す自治体も出てきている。

(3) 今後の改善点について

日本語教育体制の整備を推進するためには市町村行政の役割が欠かせないため、引き続き、市町村担当部署の日本語教育への理解を深め、当会議への参加を促す必要がある。日本語教育に係る施策は優先順位が高くないところが多いが、定期的に会議を設け、粘り強く市町村への投げかけを続けることが必要である。

6	平成29年5月25日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑥行き 先を確かめてバスや 電車に乗ることがで きる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、(場所) へ／から／まで、～と一緒に、～人 で、(時)に、いつ	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
7	平成29年5月29日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑦乗り 物での忘れ物を届け 出ることができる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、(いadj./なadj.)+Nで す、どんなNですか、(いadj./なadj.) です、～はどうですか	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
8	平成29年6月1日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅠ-⑧旅 行の感想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案 内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、～ は～がadj.です／でした、それに、で も、挨拶表現	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
9	平成29年6月5日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑨自 分の体調を医師に伝 えることができる、医 師の簡単な指示が 理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、 ～が痛いです	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
10	平成29年6月8日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑩自 分の日常生活につい て話すことができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、(場所)でVます ／ました、(時)にVます／ました	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
11	平成29年6月12日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑪贈り 物について話すこと ができる	日本の贈り物の習慣について ・(人)にVます／ました、あげます／も らいます	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
12	平成29年6月15日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑫図 書館を利用する	公共施設(図書館、公民館)の利用方 法 ・Nができます、V辞書形+ことがで きます	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
13	平成29年6月19日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑬趣 味について話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形+こと です、Nが好きです、V辞書形+ことが 好きです、Nが得意です	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
14	平成29年6月22日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑭駅 の券売機で切符が 買える	自動販売機について ・Vて形+ください、Vて形+います(動 作の進行)	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
15	平成29年6月26日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑮友 達と住まいや仕事に ついて話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形+います(習慣・状態)	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
16	平成29年6月29日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑯自 分の希望・要求を伝 えることができる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、(場 所)へ／でVたいです、(人)とVたいで す、「どこか」と「どこへ」の違い、ス ピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
17	平成29年7月3日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑰警 察に被害を伝える	安全な暮らし方 ・交通マナーを知る	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
18	平成29年7月6日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑱ゴミ の出し方について尋 ねることができる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形+もいいですか、どうしてで すか、～から(理由)、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
19	平成29年7月10日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑲人 を誘ったり、人の誘 いを受けたりすること ができる	地域の行事やお祭について ・(場所)で(催し)があります、V+ませ んか、V+しましょう、(場所)へN／Vに 行きます、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
20	平成29年7月13日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	6	基礎クラスⅠ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	日本の歌、遊び ・スピーチの原稿を正しく書き、話す	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
21	平成29年5月8日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-① 初対面の挨拶ができ る、注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフ ード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所+の+場所、自 他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・ 助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	

22	平成29年5月11日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-②自 分の国(町)が紹介 できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNです か、～はどうですか、それに／でも／ けれども(けど)／が、(場所)に(N)が あります／います	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
23	平成29年5月15日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-③クリ ニックで診察を受け ることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～かつ たです／～くなかったです、なadj.～で した／～じゃありませんでした	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
24	平成29年5月18日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-④日 本と出身地が比較で ける	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とどちら がadj.ですか、N1(の中)で何／どこ／ だれ／いつ／がいちばんadj.ですか	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
25	平成29年5月22日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑤人 を誘う、誘いを受け たり、上手に断ったり できる	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」 「で」「に」「から」「まで」、(場所)へ行き ます／来ます／帰ります、Vませんか ／ましょう	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
26	平成29年5月25日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑥趣 味・嗜好について友 達と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・NはV辞書形ことが～です、V辞書形 ことです、趣味は何ですか Nです	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
27	平成29年5月29日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑦携 帯電話の契約ができ る	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形いま す、Vて形もいいですか	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
28	平成29年6月1日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑧ ルールやマナーを理 解して生活できる	地域や社会のルールとマナー(マン ションのルールや公共マナーなど) ・Vない形、Vない形＋てください、Vな ければなりません、Vて形＋はいけま せん、どうしてですか ～から	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
29	平成29年6月5日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑨自 分の思いや経験が 話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形＋ことがあります ／ありません、(普通体)と思います ／言いました、私もそう思います、私 はそう思いません	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
30	平成29年6月8日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑩友 達と話す(普通体で 話せる)	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 (普通体)んです、普通体の会話、女 性語と男性語、関西弁	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
31	平成29年6月12日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑪面 接を受けることがで きる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ませ ん、ぜんぜん～ません、見える、聞こ える	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
32	平成29年6月15日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑫洋 服の寸法直しが頼め る	・Vて形から、～、V辞書形まえに、～、 VてVます、いadj.くしますくしてください い)、なadj.／NIにします(にしてくださ い)、普通体ので～	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
33	平成29年6月19日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑬店 で修理の依頼ができ る	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞(て形)＋ います、～のに～	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
34	平成29年6月22日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑭災 害情報を人に聞いて 適切な行動ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです(様態)、Vた 形＋ほうがいいです、Vない形＋ほう がいいです、体験学習練習	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
35	平成29年6月26日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑮子 供時代や現在のこ と、将来の希望が話 せる	日本で人気がある職業 ・～(普通体)とき～、Vたり、Vたりしま す(しました)、adj.／NIになります、V可 能形ようになります	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
36	平成29年6月29日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑯情 報を得て予定を立て る	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません(かも)、～そうです (伝聞)、Vて形＋おきます、スピーチ 指導	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
37	平成29年7月3日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅡ-⑰警 察(110番)に被害を 報告する、警察署の 講習を受ける	交通ルール ・警察への被害届の出し方	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	

38	平成29年7月6日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅡ-⑱再 配達の依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～ま でに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
39	平成29年7月10日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑲ ATMが使える、わか らない場所を人に聞 いて目的地に行ける	ATMの使い方、京都特有の住所表示 ・V辞書形と、～(条件)、Vない形と、 (条件) ・V辞書形と、～(道案内)、体験学習 練習、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 坂牧修 練	
40	平成29年7月13日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	・スピーチの原稿を正しく書き、話す、 スピーチを理解し内容について質問す る	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
41	平成29年10月2日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-① 自己紹介ができる、 物の名前を尋ねるこ とができる	日本の挨拶ことばとおじぎ ・名前／国名は～です、お(名前、 国)、挨拶表現、おじぎの習慣 ・～は～です、これ／それ／あれ／ 何、(国名)のN、どこの	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
42	平成29年10月5日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅠ-② 売り場を聞くことがで きる、施設などの営 業時間を聞く	量販店について、日本の施設の利用 時間 ・～はここ／そこ／あそこです、～はどこ ですか、数字(0～100)、助数詞(～ 階) ・時間、今何時ですか、～は～時から	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
43	平成29年10月12日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅠ-③ファ ストフード店やカフェ で注文できる	飲食店のサービス ・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと 聞き取り、助数詞(～円、～枚)、外来 語表記とその発音	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
44	平成29年10月16日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅠ-④自 分の家族が紹介でき る、自分の誕生日が 言える	自分と相手の家族の呼称 ・数え方(人／年齢)、家族の呼称	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
45	平成29年10月19日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑤目 的地を尋ねることが できる	標識や交番のマークについて ・～にあります／います、(移動手段) で、Nの(位置詞)に、(場所)から／ま で	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
46	平成29年10月23日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑥行き 先を確かめてバスや 電車に乗ることがで きる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、(場所) へ／から／まで、～と一緒に、～人 で、(時)に、いつ	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
47	平成29年10月26日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑦乗り 物での忘れ物を届け 出ることができる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、(いadj.／なadj.) + Nで す、どんなNですか、(いadj.／なadj.) です、～はどうですか	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
48	平成29年10月30日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑧旅 行の感想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案 内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、～ は～がadj.です／でした、それに、で も、挨拶表現	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
49	平成29年11月2日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑨自 分の体調を医師に伝 えることができる、医 師の簡単な指示が 理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、 ～が痛いです	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
50	平成29年11月6日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑩自 分の日常生活につい て話すことができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、(場所)でVます ／ました、(時)にVます／ました	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
51	平成29年11月9日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑪贈り 物について話すこと ができる	日本の贈り物の習慣について ・(人)にVます／ました、あげます／も らいます	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
52	平成29年11月13日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑫図 書館を利用する	公共施設(図書館、公民館)の利用方 法 ・Nができます、V辞書形＋ことができ ます	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
53	平成29年11月16日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑬趣 味について話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形＋こと です、Nが好きです、V辞書形＋ことが 好きです、Nが得意です	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	

54	平成29年11月20日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑭駅 の券売機で切符が 買える	自動販売機について ・Vて形＋ください、Vて形＋います(動 作の進行)	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
55	平成29年11月27日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑮友 達と住まいや仕事に ついて話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形＋います(習慣・状態)	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
56	平成29年11月30日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑯自 分の希望・要求を伝 えることができる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、(場 所)へ／でVたいです、(人)とVたいで す、「どこか」と「どこへ」の違い、ス ピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
57	平成29年12月4日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑰ゴミ の出し方について尋 ねることができる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形＋もいいですか、どうしてで すか、～から(理由)、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
58	平成29年12月7日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑱消 防に緊急通報する	安全な暮らし方 ・災害時の対応方法を知る	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
59	平成29年12月11日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑲人 を誘ったり、人の誘 いを受けたりすること ができる	地域の行事やお祭について ・(場所)で(催し)があります、V＋ませ んか、V＋ましょう、(場所)へN／Vに 行きます、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
60	平成29年12月14日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	日本の歌、遊び ・スピーチの原稿を正しく書き、話す	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
61	平成29年10月2日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	16	基礎クラスⅡ-① 初対面の挨拶ができ る、注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフ ード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所＋の＋場所、自 他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・ 助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
62	平成29年10月5日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-②自 分の国(町)が紹介 できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNで すか、～はどうですか、それに／でも／ けれども(けど)／が、(場所)に(N)が あります／います	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
63	平成29年10月12日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	15	基礎クラスⅡ-③クリ ニックで診察を受け ることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～かっ たです／～くなかったです、なadj.～で した／～ではありませんでした	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
64	平成29年10月16日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	16	基礎クラスⅡ-④日 本と出身地が比較で きる	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とど ちらがadj.ですか、N1(の中)で何／ど こ／だれ／いつ／が／い／ちばんadj.で すか	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
65	平成29年10月19日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-⑤人 を誘う、誘いを受け たり、上手に断ったり できる	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」 「で」「に」「から」「まで」、(場所)へ行 きます／来ます／帰ります、Vませんか ／ましょう	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
66	平成29年10月23日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑥趣 味・嗜好について友 達と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・NはV辞書形ことが～です、V辞書形 ことです、趣味は何ですか Nです	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
67	平成29年10月26日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	16	基礎クラスⅡ-⑦携 帯電話の契約ができ る	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形いま す、Vて形もいいですか	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
68	平成29年10月30日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-⑧ ルールやマナーを理 解して生活できる	地域や社会のルールとマナー(マン ションのルールや公共マナーなど) ・Vない形、Vない形＋ください、Vな ければなりません、Vて形＋はいけま せん、どうしてですか ～から	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
69	平成29年11月2日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-⑨自 分の思いや経験が 話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形＋ことがあります ／ありません、(普通体)と思います ／言いました、私もそう思います、私 はそう思いません	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	

70	平成29年11月6日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-⑩友 達と話す(普通体で 話せる)	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 (普通体)んです、普通体の会話、女 性語と男性語、関西弁	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
71	平成29年11月9日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-⑪面 接を受けることがで きる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ませ ん、ぜんぜん～ません、見える、聞こ える	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
72	平成29年11月13日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑫洋 服の寸法直しが頼め る	・Vて形から、～、V辞書形まえに、～、 VてVます、いadj.くします(くしてくださ い)、なadj./NIにします(にしてくださ い)、普通体ので～	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
73	平成29年11月16日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-⑬店 で修理の依頼ができ る	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞(て形)＋ います、～のに～	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
74	平成29年11月20日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-⑭災 害情報を人に聞いて 適切な行動ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです(様態)、Vた 形＋ほうがいいです、Vない形＋ほう がいいです、体験学習練習	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
75	平成29年11月27日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅡ-⑮子 供時代や現在のこ と、将来の希望が話 せる	日本で人気がある職業 ・～(普通体)とき～、Vたり、Vたりしま す(しました)、adj./NIになります、V可 能形ようになります	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
76	平成29年11月30日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑯情 報を得て予定を立て る	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません(かも)、～そうです (伝聞)、Vて形＋おきます、スピーチ 指導	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
77	平成29年12月4日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅡ-⑰再 配達の依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～ま でに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
78	平成29年12月7日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑱消 防(119番)に救急通 報する、消防署の講 習を受ける	災害時の対応 ・消防への通報の仕方	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	連安琦 寺村依子
79	平成29年12月11日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅡ-⑲ ATMが使える、わか らない場所を人に聞 いて目的地に行ける	ATMの使い方、京都特有の住所表示 ・V辞書形と、～(条件)、Vない形と、 (条件) ・V辞書形と、～(道案内)、体験学習 練習、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
80	平成29年12月14日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	・スピーチの原稿を正しく書き、話す、 スピーチを理解し内容について質問す る	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第23回 平成29年5月15日】

クリニックで診察を受けることができる

【導入】

- ・動作で、頭痛や腹痛の様子をしめす
- ・体温計の絵カード(実物)を見せ、熱があることを示す

【教室活動】

- ①ことば・表現を提示し、発音と意味、用法を練習する
- ②Adj.の過去形を提示する
- ③身体部位図を見て、部位の確認をして不調表現の練習をする
- ④診療科の説明をする
内科(かぜ 頭痛 腹痛) 外科(けが 骨折 やけど) 歯科 眼科 皮膚科 耳鼻科 小児科 産婦人科
- ⑤病気で医者にかかったことがあるか確認して、あればその時の様子を聞く
- ⑥問診表の書き方を説明する(各国語対応を利用する)
- ⑦薬の入手方法には直接クリニックでもらう場合と処方箋をもらって薬局で買う2通りがあることを紹介する
- ⑧診察を受ける時、医療機関によっては予約が必要な場合もあることを紹介する
- ⑨会話例「クリニックで」を一緒に読み、内容を確認する
Tが医師と受付をし、Sが患者になって練習する(不調を伝える)
- ⑩民間療法として言い伝えられている方法を紹介する
- ⑪ひらがな拗音の発音と読み方の練習をする
- ⑫漢字を提示し、読み方を中心に練習をする



○取組事例②

【第78回 平成29年12月7日】

消防(119番)に緊急通報する、消防署の講習を受ける。

導入: 事故や災害の様子を写真や絵カードで紹介する。

教室活動:

- ①事故、災害時のことばや表現を理解する(対訳)
- ②名前、住所、電話番号を言えるようになる
- ③会話例「火事」をもとに練習する
- ④消防署の話聞く(通訳付き)
- ⑤電話を使い通報練習をする



(2) 目標の達成状況・成果

ボランティアベースで運営されている地域日本語教室にとって負担となる初期学習に対応する教室として開催している。ゼロ初級者にはまず当センターの教室を参加してもらい、その後地域の教室などにつなげるという連携ができている。また、地域の教室に向けた日本語学習支援のためのモデル教室として実施していることから、学習教材を公開するとともに地域日本語教室からの見学の受け入れを行い、教室運営の参考としてもらった。

(3) 今後の改善点について

当センターの教室に参加することが困難な遠隔地在住の学習希望者への対応が課題であり、ICT教材などを活用した取り組みについても検討の必要がある。

取組3

＜取組3＞									
取組の名称		日本語学習支援人材の育成							
取組の目標		日本語学習支援が十分に行き届いていない地域において日本語支援ボランティアを養成することで日本語教室立ち上げを支援し、学習環境の整備につなげる。また日本語指導や教室運営などの研修を既存のボランティアに対して行うことで各地域の日本語教室の質を高め、持続可能なものとする。さらにそれらを市町村と協働で実施することで日本語教育事業の取組やその必要性を認識してもらう。							
取組の内容		日本語支援ボランティア養成講座(全5回 舞鶴市) 1. 支援者の心構え、やさしい日本語、日本語教材、日本語教室紹介 2. 日本語の指導法(動詞) 3. 日本語の指導法(形容詞・名詞) 4. 授業の進め方 5. 学習者を迎えての実習 日本語支援ボランティア研修会 ・八幡市 初級の教え方の工夫～『にほんごこれだけ!』を使って～ ・京都市 東海日本語ネットワークの活動紹介および府内各教室との意見交換 ・南丹市 日本語支援ボランティアの心構え、外国人学習者はどのように日本語を習得していくか ・木津川市(全4回) 日本語支援ボランティアとは、学習の進め方、動詞と形容詞の活用、授受表現 ・亀岡市 学習の進度、支援者のスキルアップ、学習教材について							
☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動								
取組による体制整備		新規ボランティアの養成やスキルアップのための研修を実施することで、府内の地域日本語教室を支援。舞鶴市においては養成講座を契機として文化庁地域日本語教育スタートアッププログラムに応募し、日本語教室開設のための取り組みが始まった。							
取組による日本語能力の向上		府内各地で日本語支援活動を行う人材を育成することにより、外国人住民に日本語学習の機会を提供。日本語教室空白地においては養成講座で人材を養成したことにより教室開設の機運が高まり、外国人住民の日本語学習の場の創出につながった。							
参加対象者		・地域の日本語教育および外国人支援に関心があり、講座修了後、日本語支援ボランティアとして活動する意志のある方 ・日本語支援ボランティアとして地域で活動している方				参加者数 (内 外国人数)		161人 (2人)	
広報及び募集方法		京都府広報、市町村広報、ホームページ、ちらしなど							
開催時間数		総時間 38時間(空白地域 時間)							
主な連携・協働先		府内市町村、市町村国際交流協会、京都にほんごRings							
参加者の出身・国別内訳 (人数)	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
	1				1				
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名
1	平成29年6月4日 (日)13:30～16:30	3	八幡市立男山公民館	31	日本語支援ボランティア研修会	初級の教え方の工夫～『にほんごこれだけ!』を使って～		西澤悦子 高橋佐代子	山野範枝 八木英敏 若松章子
2	平成29年6月18日 (日)13:30～15:30	2	メルパルク京都	33	日本語支援ボランティア研修会	東海日本語ネットワークの活動紹介および府内各教室との意見交換		酒井美賀	
3	平成29年6月24日 (土)13:00～16:00	3	西駅交流センター	25	日本語支援ボランティア養成講座	支援者の心構え、やさしい日本語、テキスト紹介、教室紹介		浜田麻里	
4	平成29年6月25日 (日)13:30～16:30	3	南丹市国際交流会館	20	日本語支援ボランティア研修会	日本語支援ボランティアの心構え、外国人学習者はどのように日本語を習得していくか		諏訪喜栄子	
5	平成29年7月1日 (土)13:00～16:00	3	中総会館	25	日本語支援ボランティア養成講座	動詞		若松章子	高橋佐代子 西澤悦子 八木英敏 青木良子
6	平成29年7月8日 (土)13:00～16:00	3	中総会館	25	日本語支援ボランティア養成講座	形容詞・名詞		高橋佐代子	西澤悦子 八木英敏
7	平成29年7月15日 (土)13:00～16:00	3	中総会館	23	日本語支援ボランティア養成講座	授業の進め方		高橋佐代子	若松章子 木村富士子 八木英敏 山野範枝

8	平成29年8月5日 (土)13:00～16:00	3	中総合会館	16	日本語支援ボランティア養成講座	模擬授業	西澤悦子	高橋佐代子 木村富士子 八木英敏 青木良子 Tran Trong Hai ZENI PERMANA MUHAMMAD RUSLI ジョシュア リ ビアー NGUYEN DINH HUNG PHONG PHAM
9	平成29年9月3日 (日)13:00～16:00	3	東部交流会館	25	日本語支援ボランティア研修会	日本語支援ボランティアとは	浜田麻里	高橋佐代子 西澤悦子 山野範枝 八木英敏 青木良子
10	平成29年9月10日 (日)13:00～16:00	3	中央交流会館	25	日本語支援ボランティア研修会	学習の進め方	高橋佐代子	西澤悦子 山野範枝 木村富士子 八木英敏
11	平成29年10月15日 (日)13:00～16:00	3	中央交流会館	18	日本語支援ボランティア研修会	動詞と形容詞の活用	西澤悦子 若松章子	八木英敏
12	平成29年10月29日 (日)13:00～16:00	3	中央交流会館	12	日本語支援ボランティア研修会	授受表現	高橋佐代子	西澤悦子 木村富士子 八木英敏
13	平成29年11月26日 (日)14:00～16:00	3	ギャラリーかめおか	23	日本語支援ボランティア研修会	学習の進度、支援者のスキルアップ、 学習教材について	高橋佐代子	西澤悦子 木村富士子

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第7回 平成29年7月15日】

1. 地域の日本語教室について考える
2. 教室に来る学習者
3. 日本語教材について
4. 授業の流れ、ウォーミングアップ
5. 授業の流れ 導入→確認→練習→Q&A
6. グループワーク「～ています」を教えてください
7. グループ発表
8. 「～ています」の文型について



○取組事例②

【第9回 平成30年9月3日】

1. なぜ日本語支援ボランティア？
2. 日本語教室ってどんなところ？
(教室紹介、教室に来る学習者について)
3. 日本語支援で大切にしたいこと
4. 外から見ると日本語はどう見えるか
5. 外国人と日本語で話すコツ
6. ボランティアとしての更なる向上をめざして



(2) 目標の達成状況・成果

・ボランティア養成講座については、府内の地域日本語教室のネットワーク組織である「京都にほんごRings」の加盟教室からの経験豊富な講師陣の丁寧な指導により参加者の満足度は非常に高いものだった。特に、日本語教室空白地域である舞鶴市での開催においては、新規立ち上げの中心メンバーとなるボランティアが生まれ、地域日本語教室スタートアップ事業の申請にもつながるなど非常に大きな成果が得られた。

・ボランティアを対象としたスキルアップ研修については、日本語支援活動を継続していくためには欠かせないものであるが、各教室が単独で実施するには予算や人員の面から容易ではないため、当センターが広域的に実施することで効率よく各団体への支援となっている。

(3) 今後の改善点について

ボランティア養成講座については、空白地解消のための仕組みとして機能しているが、地域教室から府北部、南部でそれぞれ定期開催を希望する声が多いため、講師やサポートメンバーの確保のためより多くの教室から協力を得て、関わる団体を増やしながらネットワーク形成も含めて取り組んでいく必要がある。また、ボランティアを養成するという性質上、持続可能な活動となるよう地域ごとに講座の内容を検討する必要がある。

＜取組4＞									
取組4	取組の名称		日本語教育理解促進事業						
	取組の目標		日本語教育体制整備のため全国各地で様々な事業が展開されているが、一般住民にはまだまだ遠い存在であり、その意義が広く一般に認知されているとは言えない現状である。日本語教育は多文化共生の核であり、外国人住民支援だけでなく日本語を獲得することで社会参画し、地域に貢献できる人材を輩出するという意義があるということについて行政や一般住民の理解を促す。						
	取組の内容		・「あすのKyoto・地域創生フェスタ」への出展 平成29年11月23日（木・祝） 京都府立植物園 府民交流イベントにおいて多文化共生・日本語教育への府民の理解促進のためブース出展を実施。 ・地域日本語教育理解促進事業「きて・みて・してて にほんご教室」の開催 平成30年3月11日（日） 亀岡市 府内の日本語教室20団体が一堂に会し、日本語教育や地域日本語教室についての理解促進に努めた。						
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		「あすのKyoto・地域創生フェスタ」への参加によって日本語教育の意義について、府民の理解を促進することで日本語学習支援の裾野を拡大。地域日本語教育理解促進事業は府内の20の日本語教室が一堂に会する初めての機会となり、府民への日本語教育や地域日本語教室の意義を伝える機会となったことに加え、普段つながりのない支援者同士が交流する機会ともなった。						
	取組による日本語能力の向上								
	参加対象者		一般住民、市町村担当者				参加者数 （内 外国人数）	1,600人 （ 100人）	
	広報及び募集方法		京都府広報、市町村広報、ホームページ、ちらしなど						
	開催時間数		総時間 9時間（空白地域 時間）						
	主な連携・協働先		京都にほんごRings、亀岡国際交流協会、地域日本語教室、京都府府民力推進課						
参加者の出身・国別内訳 （人数）		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	参加者数	取組テーマ	内容	指導者名	発表者名	
1	平成29年11月23日 （木・祝）10:00～16:00	6	京都府立植物園	1,400	多文化共生、日本語教育への理解促進	府民交流イベント「あすのKyoto・地域創生フェスタ」における多文化共生・日本語教育への府民の理解促進のためのブース出展			
2	平成30年3月11日 （日）13:30～16:30	3	ガレリアかめおか	200	日本語教育への理解促進	講演「地域で活動する日本語教室の意義」 府内日本語教室紹介ブース 教室アピールコーナー 日本語教材紹介 相談ブース	浜田麻里	京丹後市国際交流協会、ふくちやま日本語教室、京丹波町国際交流協会、南丹市国際交流協会、亀岡国際交流協会、京都「えき」日本語教室、kokoka日本語クラス、京都YWCAIにほんご教室「洛楽」、京都国際文化協会、にほんご空間・京都、ちちばな倶楽部、宇治国際交流クラブ日本語教室、スピーク・サロン、朋友館、にほんご教室「世界はテマン」、夢気球、京田辺国際ふれあいネット、せいかグローバルネット、木津川市国際交流協会、「やさしい日本語」有志の会	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 平成29年11月23日】

あすのKyoto・地域創生フェスタ ブース出展

多文化共生・日本語教育に関するクイズを実施

・ブース前で来場者にクイズに参加してもらうようスタッフが案内・PR

・ブース内で来場者がクイズに解答(留学生や国際交流員などの担当スタッフが質問シートを提示し、来場者と会話しながらヒント(掲示パネル)も示す)

・全問正解者は抽選会に参加



○取組事例②

【第2回 平成30年3月11日】

・講演「地域で活動する日本語教室の意義」(浜田麻里京都教育大学教授)

・府内日本語教室紹介ブース、教室アピールコーナー

(京丹後市国際交流協会、ふくちやま日本語教室、京丹波町国際交流協会、南丹市国際交流協会、亀岡国際交流協会、京都「えき」日本語教室、kokoka日本語クラス、京都YWCAにほんご教室「洛楽」、京都国際文化協会、にほんご空間・京都、たちばな倶楽部、宇治国際交流クラブ日本語教室、スピーク・サロン、朋友館、にほんご教室「世界はテマン」、夢気球、京田辺国際ふれあいネット、せいかグローバルネット、木津川市国際交流協会、「やさしい日本語」有志の会)

・日本語教材紹介

・相談ブース



(2) 目標の達成状況・成果

・府民交流イベントでは留学生や国際交流員を活用することで、多文化共生や日本語教育について楽しく身近なものとしてアピールすることができた。広く一般住民の方々への啓発活動としては効果的であるため、今後も引き続き取り組んでいきたい。

・地域日本語教育理解促進事業は府内の日本語教室が一堂に会し、一般住民に日本語教室の紹介をする初めての機会となった。普段接することのない支援者同士の交流の場ともなり、大変有意義な事業となった。

(3) 今後の改善点について

・日本人住民に広く周知するため、地域日本語教室や市町村国際化協会と連携してPRの機会を増やすとともに多文化共生や日本語教育を身近に感じてもらう自分事として捉えてもらえるような工夫が必要である。

・地域日本語教育理解促進事業は日本語教室ネットワークの15周年事業と併せて大々的に実施したが、規模は縮小しても今回のような取り組みを各地域で定期的に実施して啓発の機会を設けたい。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や市町村国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室の立ち上げ・運営に関する支援事業を各地域で展開し、京都府の日本語教育体制の整備につなげる。また、地域における日本語教育を持続可能なものとするため、事業実施にあたっては各市町村と協働し、行政の役割としての日本語教育について理解を深めてもらう。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

府内日本語教室のネットワーク化を目的とした京都府日本語教室ネットワーク会議をベースとして、府内日本語教育体制について協議し、そこで出た課題や情報をもとに市町村国際交流協会など地域団体と協働しての人材養成や研修を実施した。また日本語教室においては外国人住民へ日本語学習の機会を提供できたことに加え、カリキュラムや指導法を公開するなど地域日本語教室の参考となる教室モデルを示すことができた。これらの取り組みも含め日本語教育の意義や地域日本語教室の必要性について一般住民にアピールする場を設けることで理解促進を図った。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

府内市町村、市町村国際化協会および府内日本語教室ネットワーク組織である京都にほんごRingsと連携して日本語教室のネットワーク化を図り、日本語学習支援の人材育成において日本語学校や地域日本語教室の協力を得て新規ボランティアの養成や既存ボランティアの研修を実施。また、人材養成後には開催地各市町村や市町村国際化協会に日本語支援ボランティアの受け皿役を担ってもらった。

(4) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・当センターのHP・機関誌に加え、事業実施地域の市町村や国際化協会の広報ツールを活用して参加者への周知・広報を行った。
・日本語教育理解促進事業においては日本語教育空白地を中心に議会事務局を通じて市町村議員に対しての案内を行った。

(5) 改善点、今後の課題について

・京都府内の地域日本語教育は市町村の国際交流協会が自主的に設置・運営している日本語教室が担っている部分が大きく、自治体の関わりが希薄である。日本語教室ネットワーク会議への参加を促すなど、日本語教育の意義や必要性を認識してもらえよう働きかけていきたい。
・外国人住民が散在している京都府においては、日本語教室空白地はもとより、居住市町村に教室があってもアクセスが不便で参加できないケースも多い。遠隔地在住の学習希望者へ対応するため、ICT教材などを活用した取り組みについても検討の必要がある。
・日本語教育人材の育成については、ボランティア養成講座・研修会において昨年度に報告された文化庁指針などをもとに内容の改善を行う必要がある。
・日本語教育の体制整備にあたっては一般住民の理解促進が欠かせないため、日本語教育の意義や必要性を伝えるための機会を定期的に設ける必要がある。

(6) その他参考資料

- ・日本語支援ボランティア養成講座、研修会アンケート
- ・日本語教育理解促進事業ちらし